

LightStream 1010 および Catalyst 8500 シリーズ用のシステムイメージの選択

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco IOSリリースモデルの概要](#)

[LightStream 1010 用 12.0 Mainline と 12.0W5](#)

[Cisco IOS ソフトウェアリリース12.0W5](#)

[Cisco IOS ソフトウェアリリース12.1\(5\)EY](#)

[イメージメモリ要件](#)

[他のファームウェアコード](#)

[リリースの前に展開されます](#)

[関連情報](#)

概要

シスコでは、LightStream 1010 および 8500 ATM スイッチ ルータ用に複数の Cisco IOS® ソフトウェア リリースを提供しています。リリースごとに、機能とハードウェアの異なる組み合わせのサポートを提供しています。このドキュメントでは、これらのプラットフォームに対する一般的な Cisco IOS ソフトウェア リリースの推奨事項を提供し、リリース選択時に検討すべき要因について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Cisco IOSリリースモデルの概要

Cisco IOS® リリース 11.3 以来 (もっと十分に Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0 以来)、Cisco は一般に 2 つのタイプのリリースを使用する IOSリリースモデルに続き、:

- **主要なリリース**—大文字で終わっていないバージョン名によって識別される。たとえば、Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(15)は LightStream 1010 に [Cisco Connection Online Software Center](#) で利用できます。Cisco IOS 主要なリリースはより大きい安定性および品質を追求します。その理由で、主要なリリースは機能の追加がプラットフォームを受け入れません。各メンテナンス リビジョンでは、不具合修正だけが行われます。
- **Early Deployment (ED) リリース**—主要な Cisco IOS リリースとは違って、Cisco IOS ED リリースは市場に新しい開発を持って来る手段です。EDリリースの各メンテナンスリビジョンはプロトコルおよび Cisco IOSインフラストラクチャに新しい 機能のバグ修正、一組、新しいプラットフォームサポートおよび全体的な機能拡張がだけでなく、含まれています。2 年への各自、ED リリースの機能およびプラットフォームは次の主要な Cisco IOS リリースに移植されます。ED リリースの種類の間で次のとおりであって下さい:Consolidated Technology Early Deployment (CTED) リリースは名指しでひと目で分かります。CTED リリースの名前は「T」で常に終了します (テクノロジー)。統合技術リリースの例は Cisco IOS ソフトウェア リリース 11.3T、12.0T および 12.1T です。

Cisco のリリーストレインおよびリリースモデルのより詳しい 情報は [白書](#)で [Cisco Connection Online Software Center](#) で利用できます: [Cisco IOSレファレンスガイド](#)。この白書のより多くの詳しいバージョンは [Cisco IOS リリース](#)でまた利用できます: [完全なレファレンスガイド](#)。

LightStream 1010 用 12.0 Mainline と 12.0W5

LightStream 1010 は Cisco IOSイメージの 2 つの主要なトレインをサポートします: 12.0 Mainline と 12.0W5。通常、メインライン イメージは Cisco IOS を実行するプラットフォームにほとんどの安定したリリースを提供します。ただし、このガイドラインは LightStream 1010 のための 12.0 メインラインに適用しません。

12.0 メインライン イメージは 11.3WA4 トレインから、とりわけ 11.3(5)WA4(8) リリース得られます。はじめの幾つかのメンテナンスリリースの後で、12.0 メインライン イメージは新しい LightStream 1010 仕様機能をありません。とりわけ LightStream 1010 の機能性を高める新しい機能は 12.0W5 トレインで統合。11.3WA4 機能だけ必要とする場合、Cisco はジェネラル デプロイメントのメンテナンス パスとして 12.0 メインライン イメージを使用するように助言します。さもなければ、Cisco は最新の 12.0W5 イメージを使用するように助言します。

さらに、Ciscoリリース 12.0 メインラインを実行する各プラットフォームのためのメンテナンス イメージ。少数の LightStream 1010 仕様バグ修正だけ 12.0 の主要なリリースで統合ことを理解しておくことは重要です。LightStream 1010 に特に影響を与える LightStream 1010 のための新しい 12.0 主要なリリースが不具合が含まれていることは可能性のあるです。この表はいくつかのこれらの修正を示したものでが、これは完全なリストであるために意味されません:

注: これらの Cisco バグ ID はログオンされる登録 ユーザによってしか表示することができません。

Cisco Bug ID	バグ修正済み	説明
--------------	--------	----

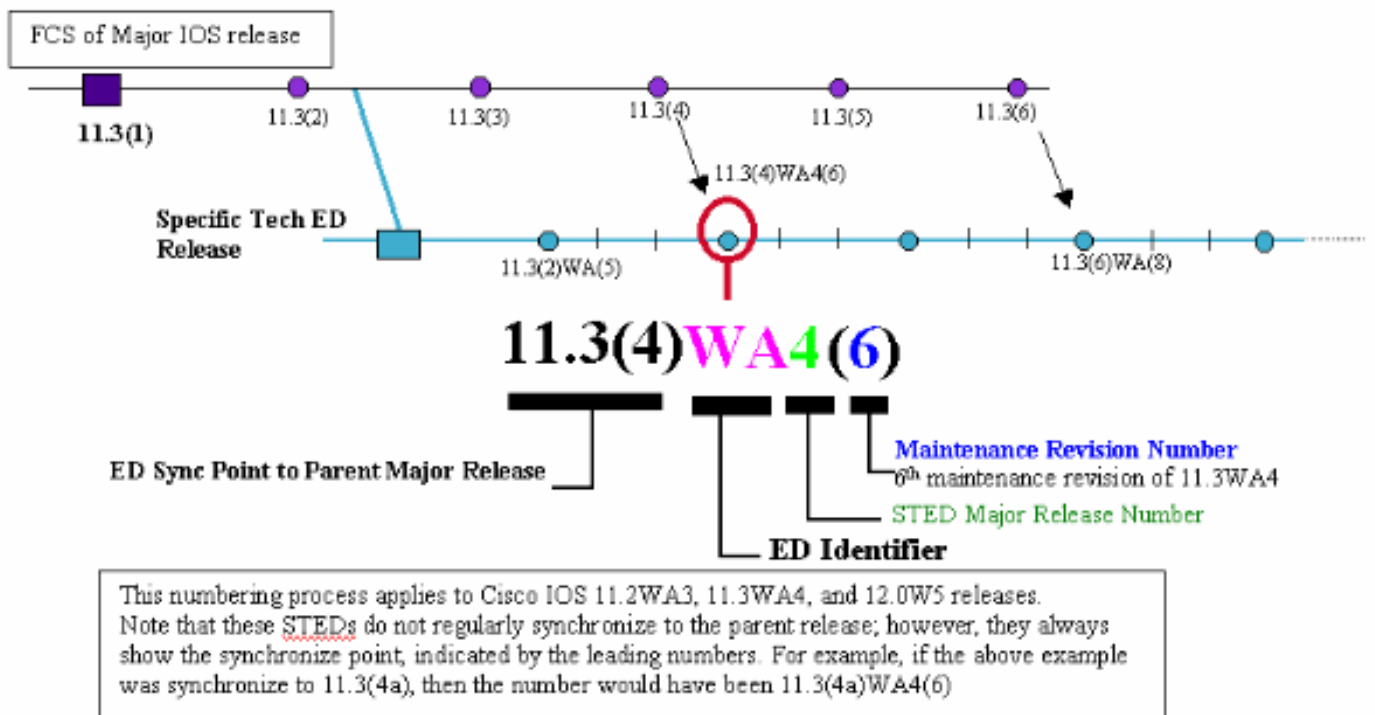
	Cisco IOS ソフトウェアリリース	
CSCdr68425	12.0(13)	相手先固定パス (PVP) 帯域幅の 95% のソフト VC の作成における問題を解決します。 可変ビットレート (VBR) Virtual Path (VP) トンネルで、コールの Peak Cell Rate (PCR; ピークセルレート) トラフィックパラメータはトンネルの最大等価帯域幅に対するよりもむしろトンネルの PCR に対して今チェックされます。
CSCdr16095	12.0(13)	物理的接続性がうまくある時でさえ相手先選択接続 (SVC) コールセットアップ障害における問題を解決します。 またこれらの MIB オブジェクトを追加しました: <ul style="list-style-type: none"> • csfSigCallTotalSetupAttempts: 呼び出しセットアップ試行の総数 • csfSigCallTotalFailAttempts: 失敗したコール セットアップ試みの総数 • csfSigCallFilterFailAttempts: 診断 フィルタを一致する 失敗したコール セットアップ試みの数
CSCdr96649	12.0(14)	PC 0x600B3A60 で Catalyst 8510 MSR プラットフォームのソフトウェア強制クラッシュを解決します。
CSCdp90229	12.0(15)	ルータで動作する ATM シグナリング コードの修正を加えます。 解決はアドレス 0xD0D0D19 でバス エラーによる 7507 プラットフォームでクラッシュします。
CSCdk87932	12.0(16)	実装 Service specific connection oriented protocol (SSCOP) レベル変更。 解決 SSCOP BGN/END プロトコル データ ユニット (PDU) 準拠問題および 12.1E イメージの SVC 冗長性機能と相互運用するべき割り当てスイッチおよびルータ。

Cisco IOS ソフトウェアリリース12.0W5

LightStream 1010 のための、また Catalyst 8500 シリーズ用の Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0W5 技術発表は基づき、Cisco IOS 12.0 メインライン イメージの同期維持を行います。同期は特定の 12.0(X)W5 イメージが 12.0(X) メインライン イメージと同じバグ修正が含まれていることを意味し一致する。たとえば、12.0(16)W5 イメージは 12.0(16) メインライン イメージと同じバグ修正が含まれています。

技術発表として、12.0W5 トレインは新しいハードウェアサポート、8 ポート T1/E1 IMA ポートアダプタのような、および ATM および Fast Simple Server Redundancy Protocol (FSSRP) 上

の IP マルチレイヤ スイッチング (MLS) のような新しいソフトウェアサポートを、統合。



Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0W5 はこの命名スキームを使用します:

- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(1)w5(x)
- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(1)w5(y)
- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(x)W5(Z)
- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(y)W5(Zb)

注: 小文字 x および y は親 IOS 主要なリリースのバージョンを表します。

注: 大文字 X、Y および Z はリリースの水平なメンテナンスを示します。メンテナンスリリースは新しい機能および新しいソフトウェア修正プログラムを統合。メンテナンスリリースは一般的に 7 から 8 週毎にリリースされます。

Cisco IOS について理解するべき重要な概念は Cisco がすべてのプラットフォームでおよびすべてのネットワーク環境で安定するリリースが宣言するポイントを示す General Deployment (GD) ステータスです。リリースはリリースがある特定の品質判定規準を満たす場合実際の顧客からの正帰還を含む GD ステータスに達します。新しいハードウェア および ソフトウェア サポートを統合主要なリリースだけ GD ステータスに達するように設計されています。Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0W5 のような技術発表は GD ステータスに達しません。

Cisco IOSソフトウェア 12.0W5(X) リリースについての詳細を表示するために、ここをクリックし、ATMスイッチルータがあるように[リリースノート](#)を確認します。

[Cisco IOS ソフトウェアリリース12.1\(5\)EY](#)

Catalyst 8500 シリーズおよび LightStream 1010 は Cisco IOS® ソフトウェア リリース 12.1(x)EY トレインによって現在サポートされます。このトレインに関する詳細については、これらのリンクを参照して下さい:

- [Cisco IOS ソフトウェアリリース12.1\(5\)EY](#)

- [Catalyst 8540 Cisco IOS Release 12.1 文書](#)
- [Catalyst 8510 MSR 文書](#)

12.0W5 トレインは Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(10)W5(18b) の後で LightStream 1010 および Catalyst 8500 におけるメンテナンス モードに効果的に入りました。12.1(x)EY トレインは新しい 機能および新しいハードウェアサポートが導入される一時的なテクニカルリリースまたは X です。主要な Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.1E に再び 12.1(x)EY トレイン併合は Cisco IOS ソフトウェア 12.2E リリースに最終的にリリースし。

[イメージメモリ要件](#)

ATMスイッチルータをアップグレードする前に、システムに 12.0W5 イメージをサポートする十分なメモリ リソースがあることを確かめて下さい。スイッチ ルータの内部アーキテクチャはこれらのメモリコンポーネントを使用します:

- フラッシュ メモリは電源を切るか、または再起動するとき Cisco IOS ソフトウェアのコピーを保存し、保たれます。8540 MSR は 8510 MSR および LightStream 1010 はフラッシュ メモリの 8 MB を必要とするが、フラッシュ メモリの 16 MB を必要とします。
- 電源、システム 負荷 イメージが動作するダイナミック ランダム アクセス メモリ (DRAM) へのオペレーティング イメージ。DRAM はまたルーティング テーブルおよび Virtual Circuit (VC) 表のようなダイナミック コンフィギュレーション 情報およびステート テーブルを保存します。Catalyst 8540 MSR は現在 8510 MSR および LightStream 1010 は DRAM の 64 MB を必要とするが、DRAM の 256 MB を必要とします。

DRAM およびフラッシュ メモリの現在の量を判別する **show version** コマンドを発行して下さい。この出力では、LightStream 1010 にフラッシュ メモリの DRAM および 8 MB の 64 MB があります。

```
ls1010-3.8#show version Cisco Internetwork Operating System Software IOS (tm) LightStream1010
WA4-5 Software (LightStream1010-WP-M), Version 12.0(10)W5(18b) RELEASE SOFTWARE Copyright (c)
1986-2000 by cisco Systems, Inc. Compiled Thu 03-Aug-00 08:33 by integ Image text-base:
0x60010930, data-base: 0x60AC4000 ROM: System Bootstrap, Version 11.2(1.4.WA3.0) [integ
1.4.WA3.0], RELEASE SOFTWARE ROM: LightStream1010 WA4-5 Software (LightStream1010-WP-M), Version
12.0(4a)W5(11a) RELEASE SOFTWARE ls1010-3.8 uptime is 4 weeks, 4 days, 2 hours, 47 minutes
System restarted by power-on System image file is "slot0:ls1010-wp-mz_120-10_W5_18b.bin" cisco
LightStream1010 (R4600) processor with 65536K bytes of memory. R4700 processor, Implementation
33, Revision 1.0 Last reset from power-on 1 Ethernet/IEEE 802.3 interface(s) 18 ATM network
interface(s) 123K bytes of non-volatile configuration memory. 8192K bytes of Flash internal SIMM
(Sector size 256K). Configuration register is 0x2102
```

[他のファームウェアコード](#)

ATMスイッチルータで、ルートプロセッサ、ROMmon、スイッチ プロセッサ、スイッチ プロセッサ フィーチャ カード、キャリアモジュール、全幅モジュールおよびネットワーククロックモジュールの機能画像をプログラムし直すことは可能性のあるです。機能画像はさまざまなハードウェア コントローラ用に低レベル機能性を提供します。システム プログラマブル デバイス内のハードウェア コントローラで、システム内プログラム可能なゲートアレイ (FPGA) および消去可能プログラムブル論理装置 (EPLDs) のような、ハードウェアの機能図がシステムイメージ負荷のおよびコントローラからのデバイスの削除のないプログラムし直された依存しないであることは可能性のあるです。

FPGA および機能画像は警告修正が含まれていますが、ほとんどの場合、アップグレードすることは必要ではないです。FPGA および機能画像からの警告を解説するリリース ノートは [ここに](#) 利用できます。

リリースの前に展開されます

一般に、Cisco はバグ修正のソフトウェア機能の量が理由で最新のイメージをおよびハードウェアサポートおよび高頻度使用するように助言します。実稼働 ネットワークの Cisco IOS ソフトウェア リリースを展開する前に、適切な製品別ドキュメンテーションを常に参考にし、あなた自身のテスト環境で受け入れテストを行って下さい、また Cisco Webサイトのこれらのリソースを参照して下さい:

- [Field Notice](#)
- [Bug Toolkit](#) —ソフトウェア バージョン、機能セットおよびキーワードに基づいて既知の不具合を捜すのにこのツールを使用して下さい。登録ユーザですおよびこのオプションにアクセスするためにログオンする必要があります。

考慮する他の推奨事項に関してはアップグレードが、[管理変更](#)を示すようにネットワーク変更を行なう時:[ベスト プラクティス ホワイト ペーパー](#)」を参照してください。

関連情報

- [ATM に関するその他の情報](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)